



## 新年のごあいさつ



蒲郡市長  
稲葉正吉

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、日ごろから市政に対するご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、本年も「夢と希望に満ちた、明るく輝く元気な町」を目指し、「堅実な行財政運営」、「産業の振興・働く場の確保」、「安全で住みやすい、魅力ある町づくり」の3つの施策を、一歩ずつ誠意をもって、全力で進めてまいります。どうぞよろしく願い申し上げます。

「夢と希望に満ちた、明るく輝く元気な町」を実現するために、まずは市民の皆様が健康であることが第一であります。市では、これまで数多くの健康推進事業に取り組んできました。昨年11月には新たにメタボ解消や糖尿病対策として「健康運動指導士」による運動指導などを受けられる「運動サポートセンター」を保健医療センター内に開設しました。これにより市民の皆様の更なる健康増進に繋がることを期待しております。

「堅実な行財政運営」については、人口減少や少子高齢化が進む中、公共施設の見直しなど、将来を見据えた行財政を推し進め、本市の発展に努めてまいります。

次に「産業の振興・働く場の確保」として、本年夏頃から、柏原地区の企業用地造成工事に着手していく予定であります。円滑に事業を進め、できるだけ早く企業用地を売り出していきたいと考えております。

また、妊娠期から子育て期にわたるまでの総合的な相談支援を提供する「子育て世代包括支援センター」を開設できるよう、現在準備を進めております。子育て世代の皆様が、安心して子育てができる体制を整備し「住みよい、魅力ある町」であり続けるよう、全力で進めてまいります。

都市基盤整備の面については、昨年11月に、国道247号中央バイパスが全線開通し、今後の蒲郡の中心市街地の渋滞緩和や観光の発展、並びに救急車や消防自動車のスムーズな活動も期待することができ、安心のまちづくりへと繋がることを期待しております。

また、国道23号蒲郡バイパス東部区間においては、現在、着々と整備が進んでおり、昨年11月には（仮称）国坂トンネルが貫通いたしました。今後の全線開通に向けて、一段と弾みになることを期待しながら、本年も引き続き、国・県への積極的な要望活動を進めてまいります。

また、三河港蒲郡地区については、自動車輸出実績が順調に伸びてきており、現在、岸壁の延伸工事に着手しております。早期全パース完成を目指し、整備促進を引き続き国・県に働きかけていくとともに、大型外航クルーズ客船の誘致も積極的に行い、観光の港としても、さらなる発展に繋がることを期待しております。

最後になりますが、今年一年、市民の皆様が安心して暮せ、住んで良かったと思っただけの町づくりに全力で取り組んでまいります。市民の皆様にとりまして、輝かしい年となりますことを祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。